

総合計画素案に対する意見と対応案

政策9 農林水産業に関する政策

①素案に反映

NO	該当箇所	意見の内容	対応案
1	施策①スマート農業等新たな時代に対応した農業を推進する		具体的な内容となるように、以下のとおり修正。 施策①-1について「生産推奨品目を中心とした水田園芸や果樹栽培の普及・拡大を推進し、稲作と園芸の複合経営推進を図ります。」に変更。 施策①-4について「就農先の紹介や農地の斡旋、給付金の交付などの支援を図ることにより、就農意欲のある若者などの参入と定着を進めます。」に変更。
2	施策①スマート農業等新たな時代に対応した農業を推進する	・(コロナ禍により)いのちを守る産業分野への転換が進んでいる。食は生きるためのルーツ。いのちを守るというキーワードで農業を考え、クオリティの高い農業の振興を入れ込めないか。	施策①-2を、①-2、①-3に分割し、以下の通り修正。 施策①-2「スマート農業の導入などにより、農作業の省力化や栽培技術の向上を図り、高品質で安全・安心な農産物の安定生産を進めます。」 施策①-3「ほ場の大区画化などの基盤整備や農地の集積・集約化の促進により農作業の効率化を図ります。」に変更。
3	施策②ブランド化や販路開拓等新たな可能性にチャレンジする	・施策②-2に「ECサイトなどを活用したマーケティング」とあるが、地域での認知度を高めてから全国に展開した方がよいのではないか。	施策②-1について、以下の通り修正。 「直売所や地域内での販売イベントやPR等により、市内農林水産物の認知度向上を図り、地産地消を推進します。」 施策②-2について、以下の通り修正。 「大都市圏やアジア諸国での販売イベントやECサイトなどを活用した効果的な情報発信を行い、販路拡大・開拓を進めます。」
4	施策②ブランド化や販路開拓等新たな可能性にチャレンジする	・ブランドの育成の仕方や地元が愛する商品づくりはキーワードになるので、そういった言葉を入れていただく方が良いのではないか。	施策②-3について「本市独自の作物である金福すいかやきゅうりふくなどの「差別化」や「高付加価値化」を図りブランド力を高めるとともに、オリーブなどの新たな産地化やブランド化を推進します。」に変更。 施策②-4として「市内農産物への愛着を深めるため、食育・農業体験事業を推進します。」を新たに追加。

②具体的な取組として検討

NO	該当箇所	意見の内容	対応案
1	施策①スマート農業等新たな時代に対応した農業を推進する	・スマート農業について、多くの予算の確保をしてほしい。	農業者(個人・法人)からの要望を伺いながら、予算化に努めていく。
2	施策①スマート農業等新たな時代に対応した農業を推進する	・農家が農機具の購入や作業の委託を共同で行うには、一定の補助が必要ではないか。	国・県・市の補助メニューを活用し、農機具の購入等への支援を図っていく。
3	施策①スマート農業等新たな時代に対応した農業を推進する	・スマート農業を推進するには法人化、大規模化の農家をしっかり支えないといけない。農業法人への支援を充実し、儲けが出るように。	県やJAなどの関係機関と連携し、農業法人への支援を図っていく。
4	施策②ブランド化や販路開拓等新たな可能性にチャレンジする	・ブランド化を推進していくには、まず製品の品質向上や市場への供給量確保が必要。セットで考えるべき。	県やJAなどの関係機関と連携し、品質向上に関する技術的指導や品質基準の設定、供給量確保のための産地形成支援などを組み合わせて実施していくことで、生産から販売に至るまでトータルで支援をしていく。

政策9 農林水産業に関する政策



未来を切り拓く農林水産業のまちをつくる

- 農林水産物のブランド力向上、新たなマーケティングや販路の開拓を進め、農林水産業の振興を図ります。
- 農山漁村の環境を守り、持続的な農林水産業の発展につなげます。

現状

安全・安心な食の提供や、自然環境の保全、水資源の涵養など、農林水産業の果たす役割は大変重要です。しかし、米価等の低迷や漁獲量の減少、従事者の高齢化による担い手不足など、農林水産業を取り巻く環境は依然として厳しい状況となっています。

特に耕作条件が不利な中山間地域においては、耕作放棄地の増加が懸念され、有害鳥獣による農作物への被害も深刻な状況です。

本市では、これらの状況をふまえ、就業者の育成、経営の安定化や所得の向上、農山漁村の環境保全などの取組を進めています。

また、北陸新幹線福井開業という好機を逸することなく、本市の農林水産物や福井の食をPRし、ブランド力の向上や販路拡大を進める必要があります。

課題

①園芸の推進による複合経営への転換と農作業の省力化

②福井の農林水産物や食のブランド力向上、情報発信、販路拡大・開拓

③森林の適正な管理と木材利用推進、収益性の高い水産業の推進

④農地・農村の環境保全、中山間地域の営農継続、鳥獣被害の軽減

施策

① スマート農業等新たな時代に対応した農業を推進する

1 生産推奨品目を中心とした水田園芸や果樹栽培の普及・拡大を推進し、稲作と園芸の複合経営推進を図ります。

2 スマート農業の導入などにより、農作業の省力化や栽培技術の向上を図り、高品質で安全・安心な農産物の安定生産を進めます。

1 ほ場の大区画化などの基盤整備や農地の集積・集約化の促進により農作業の効率化を図ります。

1 就農先の紹介や農地の斡旋、給付金の交付などの支援を図ることにより、就農意欲のある若者などの参入と定着を進めます。

② ブランド化や販路開拓等新たな可能性にチャレンジする

3 直売所や地域内での販売イベントやPR等により、市内農林水産物の認知度向上を図り、地産地消を推進します。

4 大都市圏やアジア諸国での販売イベントやECサイトなどを活用した効果的な情報発信を行い、販路拡大・開拓を進めます。

4 本市独自の作物である金福すいかやきゅうふくなどの「差別化」や「高付加価値化」を図りブランド力を高めるとともに、オリーブなどの新たな産地化やブランド化を推進します。

4 市内農林水産物への愛着を深めるため、食育・農業体験事業を推進します。

③ 稼げる林業と水産業を推進する

森林環境譲与税を活用し、管理されていない森林の整備や木材利用による普及啓発を強力に推し進めます。

ICT等の活用による生産性の向上や情報共有による林業・木材産業事業者の連携強化を進め、稼げる林業の構築を進めます。

水産資源を維持するため、つくり育てる漁業への取組を支援するとともに、ICT等を活用した「スマート水産業」を推進します。

就業希望者へのサポート、就業環境の改善等により、次の世代を担う多様な形態の人材育成確保に取り組みます。

④ 農地・農村の環境を守り活性化を図る

多面的機能支払活動組織の広域化を支援します。

中山間地域において、集落活性化への支援などを進め、自然や食などの地域資源を活用したコミュニティビジネス等の魅力あるビジネスの構築を図ります。

越前水仙の産地活性化や品質向上対策を進め、ブランドの維持・出荷量の増加を図ります。

有害鳥獣の捕獲にICTを活用するなど獣害対策の効率化を図り、農業・生活被害の低減を図ります。

総合計画素案に対する意見と対応案

①素案に反映

NO	該当箇所	意見の内容	対応案
1	施策①地域の商工業を振興する	<ul style="list-style-type: none"> ・福井はものづくりが盛んだがそれを県外の人に見せたり触れてもらう場がない。 ・今後の販路開拓にしても新たな商品開発にしても、<u>オープンイノベーションで外の知見を集めて福井と融合して何かを生み出していくという発想でいくのならば、福井のものづくり技術や産業を外にアピールできる手段、方法、場所が必要ではないか。</u> ・昨年実施した調査結果では、上期と下期の比較すると、下期の方が関連多角化事業をしたというアグレッシブな企業が増えていた。 ・コロナ禍で開発型企業が福井県全体で増えてきたような気がする。そこをさらに伸ばしていくことも意識してはどうか。 	<p>福井のものづくり技術や産業を外にアピールしていくために、施策①-1について、「ものづくり産業の高い技術力をベースに、オープンイノベーションやデジタル技術を活かした新技術・新商品の開発、販路開拓を支援し、企業の『稼ぐ力』の向上を促進します。」に修正。</p>
2	施策①地域の商工業を振興する	<ul style="list-style-type: none"> ・企業のDX化推進をどこかに入れる必要があると思う。 ・<u>最終消費財につながるような新商品の開発に力を入れることが重要。その辺を書き加える</u>とよいのではないか。 	<p>施策①に「<u>DX推進を原動力に、商品・サービスの見える化による競争力の向上や、経営の改革による企業価値の向上を進め、地元の誇りとなる魅力ある企業づくりを促進します。</u>」を追加。</p>
3	施策①地域の商工業を振興する	<ul style="list-style-type: none"> ・「ICTなどの成長産業の誘致」とあるが、「ICTなどの」は不要。 	<p>施策①-3について、「ICTなどの」を削除し、「<u>地域経済の発展や雇用機会の拡大を図るため、成長産業の誘致や、市内企業の事業拡大に対応した企業立地を推進します。</u>」に変更。</p>
4	施策②創業の促進と事業承継の円滑化を支援する	<ul style="list-style-type: none"> ・商工会議所では、中小企業の事業をそのまま引き継ぎ雇用を守るだけの事業承継ではなく、<u>モデルチェンジや世代交代をして、経営者の新しい感覚で息を吹き返すという企業事例をたくさん作ろうとしている。</u> ・守りというよりは、<u>次世代に引き継いで、モデルチェンジした新しい事業、環境変化に耐える事業承継をやっている</u>というスタンスを入れたらどうか。 	<p>施策②-2について、「<u>中小企業が待つ貴重な技術・ノウハウを次世代に引き継ぐ担い手の確保や、時代のニーズに対応できるよう事業転換を支援することにより、事業承継を促進します。</u>」に変更。</p>
5	施策③地元で働く魅力を発信する		<p>施策③-1を、より分かりやすく、具体的な表現に修正。</p>
6	施策①地域の商工業を振興する 施策③地元で働く魅力を発信する	<ul style="list-style-type: none"> ・「福井の優れた技術を若者へ発信」といった取組が施策①-2と施策③-2に重複しているので、一つにまとめられないか。 	<p>施策③-2の部分に集約し、「<u>未来を担う若者に対し、福井の優れた企業のものづくり技術や先進的な取組などを伝えることで、市内企業で働く意識を高め、地元就職や将来のUターン就職につなげます。</u>」に変更。</p>
7	施策④多様な人々が活躍できる雇用環境を推進する		<p>施策④-1を、より正確な表現に修正。</p>
8	施策④多様な人々が活躍できる雇用環境を推進する	<ul style="list-style-type: none"> ・「安定した労働力を確保するために副業」という言葉のつながりについて、<u>副業を否定するものではないが、経営者の立場から見てどうかと思う。変える必要があるのではないか。</u> ・「安定した労働力を確保するため、副業やテレワークなどの」の部分は直してほしい。副業はまだ早い。 	<p>施策④-2について、「<u>副業</u>」などの文言を削除し、「<u>障がい者や高齢者などの多様な人材の能力を活用しながら、安定した労働力を確保するための取組を支援します。</u>」に変更。</p>

総合計画素案に対する意見と対応案

政策10 商工業に関する政策

②具体的な取組として検討

NO	該当箇所	意見の内容	対応案
1	施策②創業の促進と事業承継の円滑化を支援する	・Uターンした若者に企業の中で体験をして新しい提案をしてもらい、良い提案があればUターン後にそれを実行する際に奨励する活動があればうまく連携できるかと思う。 ・若者の力を借りることも大事ではないか。知らない人に知ってもらうことも大事。 ・Uターン、Iターンについて、圧倒的に中小企業が多い中、自社PRが上手く出来ていない。企業が上手く情報発信できていない中で、学生や都会に出た方も情報収集ができず、マッチングがうまくいかない。いかに両者を繋いでいくかが課題ではないか。	福井市が管理運営している企業情報・求人情報などの検索サイト「ふくいおしごとネット」で、社員のやりがいの声や企業の取組を掲載するなど、 <u>サイトの内容充実</u> を図っていききたい。
2	施策②創業の促進と事業承継の円滑化を支援する	・雇用環境の面で、コロナ禍でテレワークがクローズアップされているが、 <u>市内にある空き家を簡単に改装し、インターネット環境を整えれば、その環境を使いたいというニーズもあるのではないか。</u>	空き家を利用したテレワークについては、空き家対策にもなることから、 <u>今回の意見を関係所属と情報共有しながら、検討</u> していききたい。
3	施策③地元で働く魅力を発信する	・UIターン就職に関し、直接、見て触れてとあるが、 <u>コロナ禍で触れるのは難しいのではないか。実感できる仕組み、しかけをつくる必要がある。</u>	<u>オンラインのみでの取組には限界があることから、オフラインと合わせた取組を検討</u> していききたい。
4	施策④多様な人々が活躍できる雇用環境を推進する	・若い人がスキルアップのために気楽に参加できる職業講座があるとよい。また、 <u>そのための支援があると良い。</u>	民間が行うものも含め、関係機関から <u>情報収集</u> を行い、 <u>スキルアップに繋がる講座の情報発信</u> を行っていききたい。
5	施策③地元で働く魅力を発信する	・インターンシップなどでは情報保護の観点で肝心なことが見れないことがある。若者の就職には親御さんの意見も重要とされる。親の意識を変えていくことも大切。 ・福井の商工業をクローズからオープンに見せる化によって知ってもらう、それが企業にもプラスになり、働き手の確保にもつながることも加えてもらえるとうい。	<u>企業情報の提供については、市の判断で提供できるものではないが、できる限り情報提供をしていただき、企業の魅力を伝えていただくことが、企業への就労にも繋がるなどのメリットがあることを企業に呼びかけていききたい。</u>
6	施策③地元で働く魅力を発信する	・コロナ禍で、本社の統括機能の部分はリモートでできることがわかり、働き方について考えるきっかけになったという話を聞く。今後そういう考え方が浸透してくると、 <u>東京、大阪で働くことが全てではないというようになってくる。</u>	今後もワーケーションを進める関係所属と今回の意見を情報共有しながら、 <u>検討</u> していききたい。
7	施策④多様な人々が活躍できる雇用環境を推進する	・ニューノーマルの時代にふさわしい雇用環境の整備もキーワードになるのではないか。	働き方改革を促すセミナーなどにおいて、時代に沿った雇用環境の整備を促していききたい。

③その他

NO	該当箇所	意見の内容	回答
1	施策④多様な人々が活躍できる雇用環境を推進する	今現在、外国人の介護士の方は、福井市に何人いるのか。	県の資料によると、本県の外国人介護従事者数は、約100名 [※] 。 ※「第8期福井県高齢者福祉計画(令和3年3月)」より



政策10 商工業に関する政策

新たなチャレンジを後押しし、
活力と魅力あふれる商工業が発展しつづけるまちをつくる

●ものづくり技術の高度化や魅力ある産業の育成、創業支援の推進により地域経済を活性化します。
●若者のUターン就職や地元就職を促進するとともに、誰もが意欲や能力をいかして活躍できる就業機会を確保します。

現状

本市には、繊維産業をはじめ高い技術を持つものづくり産業が集積しています。

これらのものづくり技術の高度化や担い手の確保に向けて、新製品の開発など新たなチャレンジへの支援や事業承継の促進に取り組むことが重要です。

また、地域経済を牽引する中核企業の育成や産業の発展につながる企業立地、若者の夢を応援する創業支援を推進する必要があります。

一方で、人口減少や若年層の首都圏への流出により、労働力不足が懸念されます。このため、若年層の地元企業への就職を促進するとともに、多様な人材の能力等を活用しながら、安定した労働力を確保する必要があります。

課題

①企業の稼ぐ力の向上に向けた事業活動への支援と雇用の創出

②若者の夢の実現に向けた創業支援と、企業の技術やノウハウを次世代に引き継ぐための事業承継の円滑化の促進

③Uターン就職の推進と、地元学生の地元就職への意識の醸成

④一人ひとりの状況に応じた柔軟な労働環境や働きがいのある職場環境の整備

施策

① 地域の商工業を振興する

- 1. ものづくり産業の高い技術力をベースに、オープンイノベーションやデジタル技術を活かした新技術・新商品の開発、販路開拓を支援し、企業の「稼ぐ力」の向上を促進します。
- 2. DX※推進を原動力に、商品・サービスの見える化による競争力の向上や、経営の改革による企業価値の向上を進め、地元の誇りとなる魅力ある企業づくりを促進します。
- 3. 地域経済の発展や雇用機会の拡大を図るため、成長産業の誘致や、市内企業の事業拡大に対応した企業立地を推進します。
 - ・地元の新鮮な食材や伝統技術などの様々な地域資源を活用した魅力ある商品を創出するとともに、各種団体と連携し、地域に根差した商業・サービスの発展に努めます。

※Digital Transformation (デジタルトランスフォーメーション) の略。
デジタル技術の活用によって企業のビジネスモデルを変革し、新たなデジタル時代にも十分に勝ち残れるように自社の競争力を高めていくこと

② 創業の促進と事業承継の円滑化を支援する

- ・若者等の夢を応援するため、熱意ある創業を支援するとともに、創業した後も早期に経営が安定するよう創業者をバックアップします。
- 4. 中小企業が待つ貴重な技術・ノウハウを次世代に引き継ぐ「担い手の確保や、時代のニーズに対応できるよう事業転換を支援することにより、事業承継を促進します。

③ 地元で働く魅力を発信する

- 5. 県やハローワーク等の関係機関との連携を強化し、都市部と比べ通勤によるストレスが少ない、自然が豊か、子育て環境が充実しているなど、市内企業で働く魅力を伝え、Uターン就職のさらなる促進を図ります。
- 6. 未来を担う若者に対し、福井の優れた企業のものづくり技術や先進的な取組などを伝えることで、市内企業で働く意識を高め、地元就職や将来のUターン就職につなげます。

④ 多様な人々が活躍できる雇用環境を推進する

- 7. 働き手の希望やライフステージに応じて、活き活きと働きつづけることができる職場環境整備への取組を支援します。
- 8. 障がい者や高齢者などの多様な人材の能力を活用しながら、安定した労働力を確保するための取組を支援します。

総合計画素案に対する意見と対応案

①素案に反映

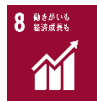
NO	該当箇所	意見の内容	対応案
1	施策①観光資源を磨き上げる	・歴史的なものを見せるのも良いが、デジタル技術を活用した新しいものが加わると良い。外国人に戦国城下町の魅力が伝わるよう、CGやVRなどのデジタル技術を活用して魅力を見える化してはどうか。	施策①-1について、「戦国城下町の往時の姿を伝える『一乗谷朝倉氏遺跡』では、…VR等の案内ツールや体験プログラムの充実、遺跡内の周遊環境の向上に取り組みます。」に変更。
2	施策①観光資源を磨き上げる	・観光入込客数で評価するのではなく、 <u>宿泊客を倍増させるような経済効果を最大化させる取組を掲げてみてはどうか。</u> ・昔からある観光資源を活用するのもよいが、そこに新しいものを一つでも加えたら、より一層観光をアピールできるのではないか。例えば、セーレンプラネットなど、デジタル技術の魅力を伝えるために、その施設を活用するの、また新たな観光資源の発掘だと思ふ。	施策①-2について、「交通結節点でもある『まちなか』では、 <u>広域観光の滞在拠点として宿泊機能を充実するとともに、夜間景観の創出による魅力の向上並びに…歴史遺産などを活かした回遊性の向上に取り組みます。</u> 」に変更。 上記の変更内容と整合させるため、課題①について「自然や歴史文化、産業など地域資源を活かした <u>体験・交流型観光や宿泊・滞在型観光</u> につながる広域観光の推進」に変更。
3	施策①観光資源を磨き上げる 施策②誘客プロモーションを強化する	・観光客は観光地を回遊することが多いので、 <u>市内の魅力的な観光地と合わせてルートの提案ができれば良い。</u> テーマに沿った周遊ルートを観光客に提案できるということが大事。 ・ <u>広域連携による観光ということを切り口に、観光ルートの提案を入れ込んで欲しい。</u> ・「見る」観光から「体験する」観光へのシフトが求められている。「産業観光」というフレーズを入れるなどの「体験」を取り上げてはどうか。 ・東京では、はとバスなどを使った周遊観光の企画がある。新幹線で福井に来られた観光客に対して、そのような周遊観光の企画があると、観光業として引き立つのではないか。	施策①-3について、「…『越前海岸』では、それらの観光資源を活かした <u>五感に響く体験・交流型観光を推進します。</u> 」に変更。 施策①-4について、「…多様な観光資源をつなげた <u>魅力ある広域観光ルートを提供するとともに、地域の生業やものづくり等を体験できる産業観光を推進します。</u> 」に変更。 施策②-1について、「… <u>福井の名所や魅力を発信するなど、官民一体となったプロモーションを展開することで、本市の認知度向上、イメージアップにつなげます。</u> 」に変更。
4	施策②誘客プロモーションを強化する	・施策②-3では「若い世代や外国人」とあるが、 <u>国内の高齢者も大きなターゲットになってくる。</u> 高齢の観光客の中には、アナログ的な観光情報誌を見ながら歩くという方もいる。SNSやインターネットを使える人も多いが、 <u>アナログの情報ツールも充実した方がよい。</u> ・ <u>高齢の観光者への視点が抜けていたので、入れていかなければいけない。</u>	施策②-3について、「…SNSなどの多様な手段を用い、観光客のニーズや特性に応じた効果的な情報発信を行います。」に変更。
5	③おもてなしの充実を図る	・「観光おもてなし市民運動」をもっと強い表現に変更し、 <u>観光に対する市民意識の醸成に強く取り組んでいくことが必要。</u>	施策③-1について、「市民が福井の良さ「福いいネ!」を実感するとともに、…「観光おもてなし市民運動」をさらに充実・強化します。」に修正。
6	③おもてなしの充実を図る	・施策③-2の「インバウンドに対応できる通訳ボランティアの育成」の部分に違和感がある。福井の魅力伝えることのできる外国語を話せる観光ガイドを養成をしていく必要がある。 ・福井県、福井市は、深い歴史がある割には、見た目にそれが伝わってこない。そこら辺は、 <u>観光ガイドなり、語り部の養成、育成、支援というのが大事だと思ふ。</u>	施策③-2の文章から、「インバウンドに対応できる通訳ボランティアの育成」を削除し、「 <u>国内外の観光客に、福井の魅力をしっかりと伝えることができる観光ガイドを育成します。</u> 」に変更。
7	③おもてなしの充実を図る	・デジタル社会を意識して、ICTなどのキーワードを一つ入れるとともに、具体的な取組としては、 <u>実施計画の中で、観光につながるデジタルツールの活用などを入れてもらえればよい。</u> ・ <u>観光アプリの開発などのデジタルプラットフォームの確立が必要。</u> ・八次総合計画では、北陸新幹線を利用する観光客にターゲットを絞った観光ルートの提案を入れ込んでもらえればよい。	施策③-3について、「… <u>観光アプリなどICTの活用による観光情報や二次交通など観光地へのアクセスの充実を図ります。</u> さらに、…感染症予防策の徹底や <u>デジタル技術の活用など、安心して快適に旅行を楽しめる取組を進めます。</u> 」に変更。

総合計画素案に対する意見と対応案

②具体的な取組として検討

NO	該当箇所	意見の内容	対応案
1	①観光資源を磨き上げる	<p>・福井市では夜間の賑わいや回遊性はほとんど見られない。回遊したくてもできない状況であるため、具体的な事業の中で何か検討してほしい。</p> <p>・コロナの影響を鑑みると、夜間の賑わいというのはいかがなものか。</p> <p>・リスク要因を入れ込みすぎると観光産業が成り立たなくなってしまう。もし必要であれば夜間の賑わいについては具体的な事業の中で検討することとしたい。</p>	<p>実施計画を策定する際に、盛り込んでいきたい。</p>
2	②誘客プロモーションを強化する	<p>・施策②-2では「…嶺北連携都市圏の自治体と連携して一体的かつ集中的に展開する」とあり、回遊性に重きを置いた発想で書かれている文章だと思うが、MaaSの発想が薄く、このままでよいのかと思う。実施計画を策定する際には、例えば、朝倉氏遺跡、恐竜博物館、永平寺などをスムーズに回遊できるような取組など、チャレンジングな取組を入れてもらいたい。</p>	<p>実施計画を策定する際に、盛り込んでいきたい。</p>

政策11 観光に関する政策



福井の魅力「福いいネ！」を実感できる、おもてなしの心があふれる観光のまちをつくる

- 観光資源をさらに磨き上げ、市民が福井に誇りと愛着を持っておもてなしする観光のまちづくりを推進します。
- ふくい嶺北連携中枢都市圏の構成自治体とも連携し、広域観光やインバウンド観光を推進するとともに、体験・交流プログラムなど観光メニューの充実に取り組みます。
- 本市の認知度向上やイメージアップを図り、北陸新幹線開業効果を最大限に高めます。

現状

北陸新幹線福井開業や中部縦貫自動車道全線開通、大阪・関西万博の開催を控え、本市では観光誘客など交流人口の拡大を図る絶好の機会を迎えています。

一方で、福井の全国的な認知度は依然として低く、北陸新幹線の出発地である首都圏において認知度向上やイメージアップの強化を図り、新幹線開業効果を最大限に高める必要があります。

訪日外国人数は、2013年(平成25年)には1千万人、2018年(平成30年)には3千万人を超えています。本県の訪日外国人旅行者は全国最下位レベルであり、また誘客・受入環境ともに充分とは言えません。

連携中枢都市圏を構成する市町や県、民間等と連携し、新幹線開業後を見据えて、観光によるまちづくりを推進することで、交流人口・関係人口の拡大、地域経済のさらなる活性化に繋げていく必要があります。

課題

①自然や歴史文化、産業など地域資源を活かした**体験・交流型観光**や**宿泊・滞在型観光**につながる**広域観光の推進** 2

②高速交通網の整備に合わせた**プロモーションの強化**や**ターゲットに応じた効果的な情報発信**

③市民、事業所、団体等が**一体となったオール福井によるおもてなしの実現**や**観光客が快適に旅行できる環境づくり**

施策

① 観光資源を磨き上げる

- 1 戦国城下町の往時の姿を伝える「一乗谷朝倉氏遺跡」では、令和4年開館の県立博物館とも連携し、**VR等の案内ツールや体験プログラムの充実、遺跡内の周遊環境の向上**に取り組みます。
- 2 交通結節点でもある「まちなか」では、**広域観光の滞在拠点として宿泊機能を充実するとともに、夜間景観の創出による魅力の向上**並びに養浩館庭園や福井城址等の歴史遺産などを活かした回遊性の向上に取り組みます。
- 雄大な「自然」と豊かな「食」に恵まれた「越前海岸」では、それらの**観光資源を活かした五感に響く体験・交流型観光**を推進します。
- 日本遺産に認定された一乗谷朝倉氏遺跡、養浩館庭園、白山平泉寺など多様な観光資源をつなげた**魅力ある広域観光ルートを提供するとともに、地域の生業やものづくり等を体験できる産業観光**を推進します。

② 誘客プロモーションを強化する

- 本市のプロモーションの旗印である「福いいネ！」を活用し、**福井の名所や魅力を発信するなど、官民一体となったプロモーションを展開**することで、本市の認知度向上、イメージアップにつなげます。
- 北陸新幹線や中部縦貫自動車道の沿線地域に対する情報発信について、県や「ふくい嶺北連携中枢都市圏」の構成自治体とも連携し、**一体的かつ集中的に展開**することで、観光地として認知度向上につなげます。
- 4 若い世代や外国人の観光客に訴求力のあるSNSなどの**多様な手段を用い、観光客のニーズや特性**に応じた効果的な情報発信を行います。

③ おもてなしの充実を図る

- 5 市民が福井の良さ「福いいネ！」を実感するとともに、オール福井で観光客を温かく迎え入れることができるよう「**観光おもてなし市民運動**」をさらに**充実・強化**します。
- 6 国内外の観光客に、福井の魅力をしっかりと伝えることができる**観光ガイド**を育成します。
- 7 北陸新幹線福井駅における観光案内機能を強化するとともに、**観光アプリなどICTの活用による観光情報や二次交通など観光地へのアクセスの充実**を図ります。さらに、感染症という新しいリスクに対応するため、**感染症予防策の徹底やデジタル技術の活用**など、安心して快適に旅行を楽しめる取組を進めます。